

安全報告書（2014年）



鉢伏開発観光株式会社
（ハチ・ハチ北スキー場）

1. 利用者の皆様へ

平素よりハチ・ハチ北スキー場をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

弊社は、安全第一をモットーに掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

鉢伏開発観光株式会社 代表取締役社長 平田 真基

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

弊社は、安全第一をモットーとし、安全管理規程に「安全に係る行動規範」として次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

(鉢伏開発観光株式会社 安全管理規程より)

社長、役員及び職員(職員に準ずるものを含む)(以下「職員等」という。)の安全に係る行動規範(安全の基本理念、安全方針)は、次のとおりとする。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程(本規程を含む。以下「法令等」という)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全目標

平成 25 年度の安全目標は「索道運転事故発生 0 件」であり、無事これを達成することができました。平成 26 年度も引き続き「索道運転事故発生 0 件」を安全目標に掲げ、安全の確保に努めます。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成 24 年 3 月 1 日に発生したハチ高原中央ペアリフトの搬器衝突事故を教訓に一層の安全運転を心がけました。その効果もあり、平成 25 年度、索道運転事故は発生しませんでした。

(2) 災害(地震・暴風雨・豪雪等)

視界不良および強風のため延べ5日間頂上周辺のリフトを休止しました。なお、今期のリフトの総運転時間は12, 283時間となりました。

(3) インシデント

平成 25 年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

平成 25 年度、監督官庁等からの行政指導はありません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育及び緊急時対応訓練

弊社ではスキー場営業開始を前に全従業員を一同に集めた集合研修を実施しており、その場で安全に関する心構えや、救助訓練の実施、リフト運転に関する知識の向上などを教育しております。今期は平成 25 年 11 月 28 日に開催いたしました。

(2) 安全のための投資と支出

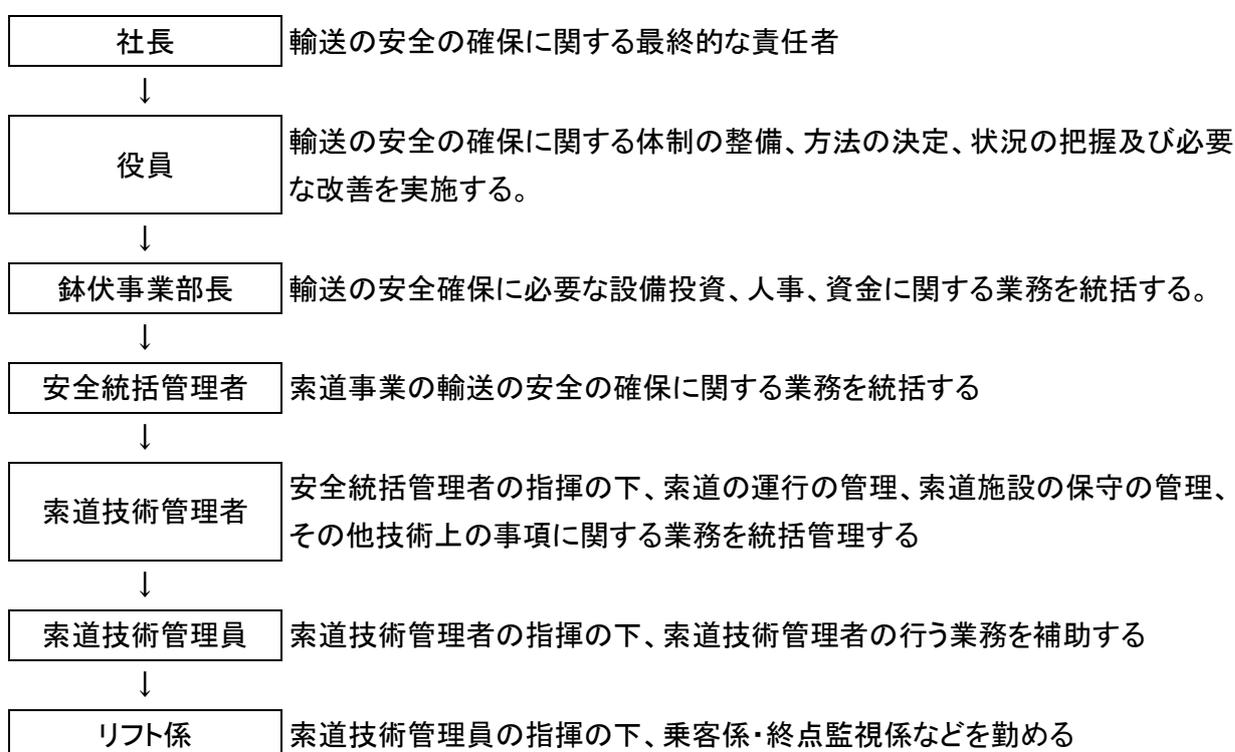
毎期末に安全を最優先に次年度の投資、補修を決定し実行しております。平成 25 年度の主要な実施状況は以下のとおりです。

- ハチ高原中央ペアリフトの事故対策として風速計及び監視カメラを追加
- ハチ北高原野間クワッドリフトの握索機をオーバーホール
- ハチ高原中央ペアリフトの支えい索を交換
- ハチ高原林間ペアリフトにセーフティーバーを追加
- 各所ブレーキパッド交換
- 各所索輪のゴムライナーの交換

平成 26 年度は、ハチ北高原中央クワッドリフトの握索機のオーバーホール、ハチ北高原野間クワッドの電磁クラッチ更新、一部受圧索機の交換を実施いたします。

5. 安全管理体制

弊社の安全管理体制は社長をトップとした以下のとおりとなっております。各リフトでは索道技術管理者が主となり、始業前ミーティングで当日の天候や健康状態などを確認しております。



6. 弊社へのご意見・ご要望

弊社へのご意見・ご要望は下記までお願いします。

〒550-0013

大阪府大阪市西区新町1-3-12 四ツ橋セントラルビル2F

鉢伏開発観光株式会社 鉢伏事業部

TEL.: 06-6532-1781

FAX: 06-6532-1777

URL: <http://www.hachi-hachikita.co.jp/>

e-mail によるお問合せも上記URLからお願いいたします。